

生命×科学

10:00 部門奨励賞【パーソナル・コミュニケーション部門】
『Central Dogma』8分

製作：デジタルハリウッドCG映像クリエイター専攻 松岡毅
サイエンスドキュメンタリー。DNAという設計図から20種類のアミノ酸を組み立てて蛋白質を作り上げるまでのプロセスを3DCGで再現し、分かりやすく解説。



10:10 優秀企画賞(研究分野)
『植物の生殖 ～花のメカニズム、2つの生殖法～』27分

製作：(有)EUGLENA 自主製作
花の中ではどのようにして種子がつけられていくのか、被子植物の花の中で行われている有性生殖の過程を詳しく紹介する。



10:38 審査員賞(アニメーション表現)
『ゆく先々に・・・』2分17秒

製作：(株)クリーク・アンド・リバー社
クライアント：(株)シルバーテック
AED(自動体外式除細動器)の認知向上をはかるため、手書きの柔らかいタッチの線画アニメーションで表現。



10:40 部門優秀賞【コーポレート・コミュニケーション部門】
『SHEQAS 地震動エネルギー吸収システム「シーカス」』20分

製作：(株)アン!
クライアント：積水ハウス(株)
地震の揺れを吸収し、熱として放散する積水ハウスの革新的なシステム「シーカス」をさまざまな実験・検証などでその構造と性能を明らかにした。



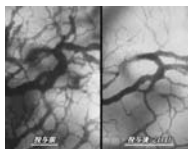
11:00 部門優秀賞【コーポレート・コミュニケーション部門】
『ナノテク未知への挑戦#1 ようこそナノテクの世界へ』29分

製作：(株)イメージサイエンス
クライアント：(独)科学技術振興機構
5人の研究者の研究室を訪ね、興味深いナノテク物体を紹介し、ナノテクノロジーとは何か、ナノテクノロジーによってどのようなことができるかを紹介する。



11:30 最優秀作品賞(グランプリ)
『腫瘍血管新生 VEGF vs Avastin』20分

製作：(株)桜映画社
クライアント：中外製薬(株)
腫瘍血管研究の始まりとアバスタチン開発の経緯を各研究者に尋ね、腫瘍血管に及ぼすアバスタチンの作用についてCG画像と顕微鏡撮影によって解説。



©桜映画社

産業×開発

13:00 優秀企画賞(展示演出分野)
『TOKYO MOTOR SHOW 2007』8分
『i-REAL』篇/『1/X』篇/『RIN』篇/『iQ CONCEPT』篇

製作：(株)電通テック
クライアント：トヨタ自動車(株)
東京モーターショーに出品された4台のコンセプトカーを特殊撮影、VFX、CGなど、映像効果を駆使して表現したエンターテインメント性溢れるプロモーションフィルム。



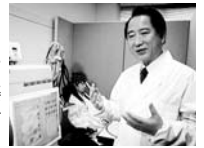
13:08 部門優秀賞【コーポレート・コミュニケーション部門】
『デジタル商業印刷機 信頼のキヤノン篇』6分

製作：(株)ピラミッドフィルム
クライアント：キヤノン(株)
ビジネス複写機分野で得た技術を発展させ、新規にPOD事業に参入したキヤノンのデジタル印刷機の優位性をCGなどを用いてビジュアル化したプレゼン用映像。



14:15 部門優秀賞【コーポレート・コミュニケーション部門】
『日立製作所フェロー 小泉英明』
(前編)「光トポグラフィーがひらく未来」13分15秒
(後編)「モノづくりに魅せられて」11分20秒

製作：(株)カジマビジョン
クライアント：(株)日立製作所
脳の働きを測定し、人の心を科学的に解明しようとする「脳科学」の研究に取り組む科学者・小泉英明の姿を通して、「脳科学」の最先端の研究や学ぶ楽しさなどを伝える。



©日立製作所

14:40 審査員賞(アーカイブス利用)
『新装花王石鹸発売の宣伝広告』3分

製作：花王映像制作(株)
クライアント：花王(株) 花王ミュージアム
昭和初期、「新装花王石鹸」発売時の宣伝広告風景を役員が撮影。そのフィルムをJAZZに乗せて再編集。当時のアドバルーンやデパートのショーウィンドウ、街頭宣伝風景が興味深い。



14:43 部門優秀賞【コーポレート・コミュニケーション部門】
『氷川丸 明日への旅立ち～80年の時を越えて～』29分

製作：(株)テレビ東京コマーシャル
クライアント：日本郵船(株)
1930年に豪華客船として出航して以来、戦時中には病院船、戦後には引揚船、その後再び貨客船としてシアトル航路に復帰した氷川丸77年間の激動の歴史を資料映像と関係者のインタビューで振り返る。



15:13 優秀作品賞(準グランプリ)
『二輪車開発物語』4分

製作：(株)電通テック
クライアント：スズキ(株)
スズキの名を世界に広めたオートバイ。その最初の一台目を作ろうと決意したスズキ二代目社長 鈴木俊三氏のエピソードを飛び出す絵本風に演出。



15:17 経済産業大臣賞
『YAMAHA MUSEUM -THE MOVIE-』15分

製作：(株)電通テック
クライアント：ヤマハ発動機(株)
ヤマハ発動機の世界観である「Art of Engineering」を、東京モーターショー2007に展覧されたコンセプトカーを中心に映像化。



人間×環境

15:40 審査員賞(ドキュメンタリー取材)
『白い虹 ～2007年北極～』60分

製作：(株)ドキュメンタリー工房/朝日放送(株)
2007年夏、北極の氷は観測史上最少を記録した。カナダ・日本など世界の研究者を乗せたレイ・サンローラン号に同乗、北極の劇変を撮影した世界唯一の記録。白い虹は、融ける時、現れる自然の警告である。



16:40 部門優秀賞【ソーシャル・コミュニケーション部門】
『モエレ沼公園 誕生への歩み』43分

製作：北海道映像記録(株)
クライアント：札幌市環境局みどりの推進課
世界的彫刻家イサム・ノグチのコンセプトをもとに多くの人の熱意で不燃ゴミ処分場は「モエレ沼公園」として生まれ変わった。計画から完成に至るまでの歩みを記録。



17:25 文部科学大臣賞
『学問と情熱 第35巻 本多静六 いのちを育てる森の実学』46分

製作：(株)ポルケ
クライアント：(株)紀伊屋書店
明治神宮の森造成、東京水源林の保全、日比谷公園を初め全国の公園を整備。明治の時代から緑と水の重要性を説き、今日の環境問題の先駆者ともいえる日本初の林学者本多静六の業績に光をあてる。



©KINOKUNIYA COMPANY LTD.2007

トークセッション PART-1
プロデューサー編

人権×社会

10:00 優秀企画賞(学校教育分野)
『いのちの授業 十歳のきみへ』17分

製作: (有)ユー・エヌ
クライアント: (財)笹川医学医療研究財団
10歳の子どもたちに「いのちってなあに?」と問いかける96歳の現役のドクター、聖路加国際病院理事長の日野原重明氏。その小学校での出前授業を記録。



©U.N.Limited

10:20 優秀企画賞(社会教育分野)
『MAMIE“夢”の発信-聴導犬って知ってますか-』19分

製作: (株)学習研究社
クライアント: 大阪府教育委員会
日本ではまだ数が少ない聴導犬。スタッフの多くが聴覚に障がいがある団体MAMIEが、自分たちの力で聴導犬普及のため講演会を開こうと立ち上がった。



10:40 部門優秀賞【ソーシャル・コミュニケーション部門】
『棧の向こう側 ~ハンセン病患者・回復者の歩み~』39分

製作: 岩波映像(株)
クライアント: (株)丹青社 / 国立ハンセン病資料館
患者の強制隔離・収容を規定した『らい予防法』は、平成8年に廃止されたが、今なおハンセン病に対する偏見・差別は根強い。病回復者、医師・行政関係者等のインタビューにより、ハンセン病の悲劇を生んだ原因、強制隔離の実態を伝える。



11:20 部門優秀賞【ソーシャル・コミュニケーション部門】
『見上げた青い空』34分

製作: (株)電通テック
クライアント: 法務省人権擁護局
(財)人権教育啓発推進センター
匿名性が高いネット時代の“いじめ”は次々と感染していき、陰湿な仕打ちもまるでゲーム感覚で行われる。巧妙でかつ残酷ないじめの現実を直視してもらうようドラマ形式で描く。ドラマの登場人物がいじめについて語るという工夫が斬新。



個人×家族

13:00 部門奨励賞【パーソナル・コミュニケーション部門】
『我心』10分

製作: 日本大学芸術学部映画学科
宮島良季
上野公園で似顔絵を描くことを生業としている盛田康正さんの日常生活を追い、その生き様を映し出す。



13:10 部門優秀賞【パーソナル・コミュニケーション部門】
『私の家』14分

製作: 日本大学芸術学部映画学科
入谷有
ある家庭を、その家の猫の目線で見つめるドキュメンタリー作品。日本大学芸術学部映画学科の卒業制作。



13:24 部門優秀賞【パーソナル・コミュニケーション部門】
『さくらランドセル』36分

製作: 新井哲
(さくらランドセル製作委員会)
ゴミを集める女、親に捨てられた子ども、用済みの使用者。女はある日、捨てたランドセルをポストにすることを思いつく。真っ赤なランドセルが繋いだ、孤独な3人の小さな出会いの話。



歴史×文化

15:00 部門優秀賞【ソーシャル・コミュニケーション部門】
『蘇る玉虫厨子 時空を越えた技の継承』64分

製作: (株)平成プロジェクト 自主製作
国宝「玉虫厨子」を現代に蘇らせる。挑むは伝統工芸の職人達。平成の名工達が飛鳥の匠との心の対話を経て「平成の玉虫厨子」が完成するまでのドキュメント。



16:04 審査員賞(プロポーション展開)
『ZEN 京都五山 和の文化・禅の旅』26分

製作: (株)ビデオ・ステーション・キュー
クライアント: (株)TVQ九州放送
フランス人のナビゲーターを起用し、禅宗が日本で初めて伝わった博多の寺院や京都を中心に普及した五山文化を紹介、九州国立博物館での「京都五山 禅の文化展」の集客を目的とした番組。



16:30 優秀企画賞(地域文化分野)
『夢二 永遠の女 笠井彦乃』30分

製作: (株)毎日映画社
クライアント: 中央区教育委員会
竹久夢二にとって“最愛のひと”と言われた笠井彦乃。日本橋で育ち自らも画家を志した彦乃は、夢二の画業とその生涯に深く影響を与えている。彼女の短くも激しく燃えた23年の生涯を辿る。



17:00 部門優秀賞【ソーシャル・コミュニケーション部門】
『津軽の地蔵さま』30分

製作: (株)大峠プロダクション
クライアント: 国立歴史民俗博物館
津軽の地蔵信仰を家や村を代表して担っているのは女たち。地蔵さまと地域の人々との交流をありのままに記録し、現在息づく民間信仰の意義を明らかにする。



17:30 優秀作品賞(準グランプリ)
『木工芸 - 中川清司のわざ -』33分

製作: (株)日経映像
クライアント: 文化庁
人間国宝中川清司は、家業の桶屋を受け継いで、桶指物の技術を生かした神代杉の「榎目合わせ」木画箱を作る。長方形や三角形の部材を千二百枚も組み合わせで仕上げてゆく気の遠くなるような職人技、その制作工程を追う。



- 主催 映像文化製作者連盟
- 運営 映文連アワード2008実行委員会
- 後援 文部科学省
- 経済産業省
- 映像産業振興機構
- 日本映画テレビ技術協会
- 日本アド・コンテンツ制作社連盟
- 日本ポストプロダクション協会
- 機械産業記念事業財団
- 埼玉県彩の国ビジュアルプラザ
- 毎日新聞社
- 読売新聞社
- 映像新聞社
- ユニ通信社

トークセッション ～これからの映像制作を考える～

PART-1 プロデューサー編 12月18日(木) 13時～14時30分

【出演予定】

長谷川 千佐子

『TOYOTA TOKYO MOTOR SHOW 2007』プロデューサー

宮下 東洋

『デジタル商業印刷機 信頼のキャノン篇』プロデューサー

齋藤 優

『日立製作所フェロー 小泉英明』プロデューサー

PART-2 ディレクター編 12月19日(金)13時30分～15時

【出演予定】

大曾 啓

『見上げた青い空』演出

新井 哲

『さくらランドセル』演出

乾 弘明

『蘇る玉虫厨子 時空を越えた技の継承』演出

ナビゲーター 渡邊 龍一郎

元ディレクターズマガジン編集長、映文連常任理事

(以上、敬称略)

斬新なアイデアで映像制作に挑戦するプロデューサーたち。
コーポレート・コミュニケーション映像ならではの
企画立ち上げの苦心工夫、その面白さ、
広告主からのメッセージをどう映像表現するのか。
メディア変革期、クロスメディアの時代を迎え、
これからの産業映像はどうあるべきかを語り合う。

部門優秀賞受賞の気鋭の映像作家によるトークセッション。
何からヒントを得て作品を創ったのか。
新しい映像表現はどこから生まれようとしているのか。
映像コミュニケーションの可能性を語り合う。
熱いトークの中から、映像の未来形が
浮かび上がってくる……。

参加費

1日券 会員 600円 非会員 800円
通し券 会員・非会員 1,200円

小冊子
『映文連アワード
2008 特集号』
進呈

ACCESS MAP



問い合わせ

社団法人 映像文化製作者連盟

〒103-0022 中央区日本橋室町 4-2-9

TEL: 03-3279-0236 FAX: 03-3279-0238

URL: www.eibunren.or.jp

会場案内

富士フイルム西麻布本社 1階ホール

〒106-8620 東京都港区西麻布 2-26-30

交通アクセス

JR 渋谷駅から、徒歩約 20 分

バス 渋谷駅東口バスターミナルより

都 01 系統 新橋行 南青山七丁目 下車 1 分

地下鉄 表参道駅から、徒歩約 15 分

地下鉄 六本木駅から、徒歩約 15 分